

市議会だより

発行／下妻市議会 発行責任者／議長 原部 司 編集／広報広聴委員会
〒304-8501 下妻市本城町2-22 電話(0296)43-2111(代) 内線1111・1112

今月号のあんない

定例会……………	2～3
平成31年度予算……………	3～4
予算に対する賛否討論……………	4
一般質問……………	5～11
議会日誌……………	12



すすんで学習する子 思いやりをもち協力し合う子 健康でたくましい子



～学校紹介～ 【上妻小学校】



上妻小学校は、全校児童が305名で、今年で146年目を迎える歴史と伝統のある学校です。体験活動や交流活動を積極的に行っており、下妻中学校との小中連携、下妻特別支援学校や老人福祉施設との交流にも力を入れています。また、併設する上妻幼稚園とは日常的に交流するとともに、近隣の保育園・幼稚園との保幼小連携にも力を入れています。特に、幼～6年生をたてわり班にした活動や運動会などの学校行事、幼～2年生で行う「上妻っ子フェスティバル」はすごい盛り上がりです。

学校のスローガンである「花と笑顔と思いやり」「けがなし・事故なし・いじめなし」を合い言葉に、「チャレンジ」の心を大切に、日々レベルアップを目指しています。

こんなことが決まりました

平成31年第1回定例会議決一覧表

事件の番号	件名	内容	議決月日 結 果
報告第1号	専決処分の報告について「損害賠償について」	市有車の接触事故による損害賠償金の支払いについて専決処分したもの	3. 4 報告のみ
報告第2号	専決処分の報告について「損害賠償について」	市有車の接触事故による損害賠償金の支払いについて専決処分したもの	3. 4 報告のみ
報告第3号	専決処分の報告について「損害賠償について」	消防団の消防ポンプ車の接触事故による損害賠償金の支払いについて専決処分したもの	3. 4 報告のみ
議案第1号	下妻市議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	公職選挙法の改正に伴い、市議会議員の選挙において選挙運動用のビラを公費負担にて頒布することができるようになったことから、市条例においても同様の改正を行うもの	3. 20 原案可決
議案第2号	下妻市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	人事院勧告に基づく国家公務員の給与の取扱いに準拠し、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を改定するもの	3. 20 原案可決
議案第3号	下妻市特別職の職員で常勤のものの給与の特例に関する条例の一部改正について	平成30年度に引き続き、平成31年度においても市長、副市長及び教育長の給料月額等の減額措置を行うもの	3. 20 原案可決
議案第4号	下妻市職員の給与に関する条例の一部改正について	人事院勧告に基づく国家公務員の給与の取扱いに準拠し、職員の給料月額等の支給割合を改定するもの	3. 20 原案可決
議案第5号	下妻市森林環境譲与税基金条例の制定について	国から譲与される森林環境譲与税について、後年度に市が実施する森林整備事業等の費用として積み立てるため、基金を設置するもの	3. 20 原案可決
議案第6号	下妻市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	重度心身障害者に対する医療福祉（マル福）制度の対象を拡充し、新たに精神障害者保健福祉手帳1級所持者を対象とするもの	3. 20 原案可決
議案第7号	下妻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	放課後児童支援員の資格基準について、専門職大学制度の創設に伴い厚生労働省令が改正されたことから、市条例においても同様の改正を行うもの	3. 20 原案可決
議案第8号	下妻市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正について	不適正事案の再発を防止するため、現行条例による規制をより強化するもの	3. 20 原案可決
議案第9号	砂沼サンビーチ及び砂沼広域公園駐車場の管理に関する条例の一部改正について	砂沼サンビーチの運営中止に伴い、砂沼サンビーチの管理に関する規定について所要の改正を行うもの	3. 20 原案可決
議案第10号	下妻市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	水道布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準について、専門職大学制度の創設に伴い水道法施行令及び水道法施行規則が改正されたことから、市条例においても同様の改正を行うもの	3. 20 原案可決
議案第11号	市道路線の認定について	大宝地区は場整備事業の完了等により大串地内ほか29件を認定するもの	3. 20 原案可決
議案第12号	市道路線の廃止について	大宝地区は場整備事業の完了等により大串地内ほか43件を廃止するもの	3. 20 原案可決
議案第13号	平成30年度下妻市一般会計補正予算（第4号）について	各種基金への積立金の計上等により1億2,865万7,000円を増額するもの	3. 20 原案可決
議案第14号	平成30年度下妻市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	療養給付費保険者負担金の増額等により5億5,200万円を増額するもの	3. 20 原案可決
議案第15号	平成30年度下妻市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	保険料等納付金の増額等により760万1,000円を増額するもの	3. 20 原案可決
議案第16号	平成30年度下妻市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	居宅介護サービス・地域密着型介護サービス給付費の増額等により6,464万9,000円を増額するもの	3. 20 原案可決
議案第17号	平成30年度下妻市下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	事業負担金の減額等により48万円を減額するもの	3. 20 原案可決
議案第18号	平成30年度下妻市砂沼サンビーチ特別会計補正予算（第1号）について	入場料の減額等により1,580万3,000円を減額するもの	3. 20 原案可決
議案第19号	平成31年度下妻市一般会計予算について	平成31年度の予算167億9,500万円を定めるもの	3. 20 原案可決
議案第20号	平成31年度下妻市国民健康保険特別会計予算について	平成31年度の予算53億1,700万円を定めるもの	3. 20 原案可決

平成31年第1回定例会・一般会計予算の内訳

事件の番号	件名	内容	議決月日 結 果
議案第21号	平成31年度下妻市後期高齢者医療特別会計予算について	平成31年度の予算4億4,100万円を定めるもの	3. 20 原案可決
議案第22号	平成31年度下妻市介護保険特別会計予算について	平成31年度の予算34億6,700万円を定めるもの	3. 20 原案可決
議案第23号	平成31年度下妻市介護サービス事業特別会計予算について	平成31年度の予算780万円を定めるもの	3. 20 原案可決
議案第24号	平成31年度下妻市下水道事業特別会計予算について	平成31年度の予算10億2,200万円を定めるもの	3. 20 原案可決
議案第25号	平成31年度下妻市水道事業会計予算について	平成31年度の予算15億7,984万6,000円を定めるもの	3. 20 原案可決
議案第27号	平成30年度下妻市一般会計補正予算（第5号）について	国の補正予算による、担い手確保・経営強化支援事業の計上等により3,737万7,000円を増額するもの	3. 20 原案可決

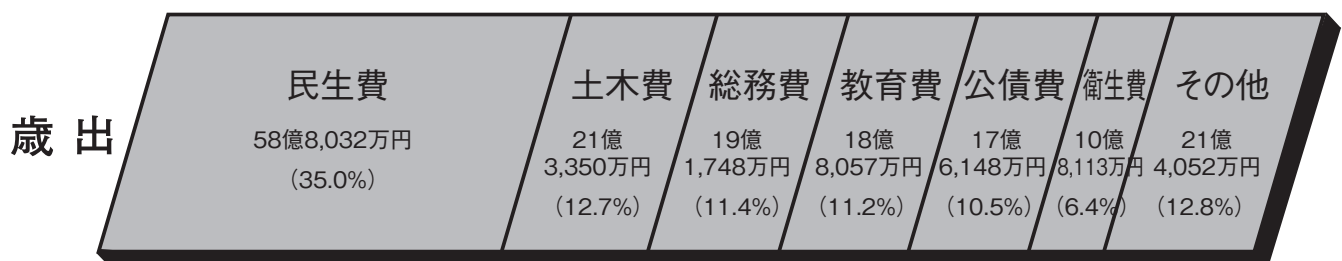
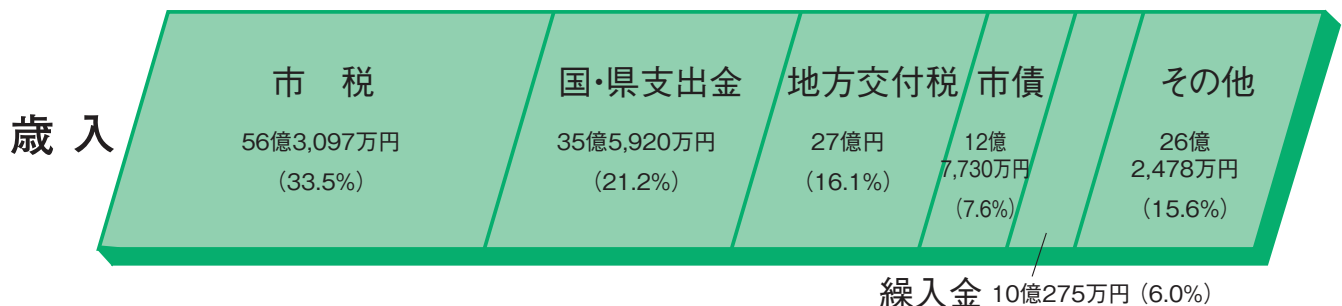
人事議案・選挙

議案第26号	下妻市教育委員会教育長の任命について	現教育長である横瀬晴夫氏が、任期満了となることから、引き続き同氏を教育長に任命することについて、議会の同意を求めるもの	3. 20 同 意
議案第28号	下妻市副市長の選任について	現副市長である野中周一氏が、副市長を辞職することに伴い、新副市長として齋藤章氏を選任することについて、議会の同意を求めるもの	3. 20 同 意
選挙第1号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙	在任する茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員が任期満了になるため、広域連合規約第8条の規定に基づき選挙を行うもの 当選議員：須藤豊次議員	3. 4 当 選

請 願

平成30年 請願受理番号 第1号	主要農作物種子法の復活等をもとめる請願	廃止された主要農作物種子法の復活等を求める意見書を国に提出することを求めるもの	3. 20 不採択
------------------------	---------------------	---	--------------

■平成31年度一般会計予算の内訳■



＝ 平成31年度 各 会 計 予 算 ＝

会 計 別	本 年 度	前 年 度	増 減 率
一 般 会 計	167億9,500万円	156億3,400万円	7.4%
国民健康保険特別会計	53億1,700万円	52億9,500万円	0.4%
後期高齢者医療特別会計	4億4,100万円	4億1,200万円	7.0%
介護保険特別会計	34億6,700万円	33億4,000万円	3.8%
介護サービス事業特別会計	780万円	600万円	30.0%
下水道事業特別会計	10億2,200万円	10億 600万円	1.6%
砂沼サンビーチ特別会計	—	1億7,800万円	—
水道事業会計	15億7,985万円	13億6,938万円	15.4%
合 計	286億2,965万円	272億4,038万円	5.1%

平成31年度 一般会計予算に対する賛否討論

賛 成

今回の予算は、骨格予算とした前年度当初予算に政策的な予算を追加した6月補正予算との比較では0.3%の増に留まっている。

歳入面では、景気の回復を背景に、これまでの企業誘致活動の成果の表れもあり、市税の増加を見込んでいるものの、削減段階にある地方交付税や臨時財政対策債が減額となることから、一般財源の確保が依然として課題となっており、財源不足の対応から多額の財政調整基金の繰り入れを行っていることは、将来の財政運営に懸念が生じる。

しかし、歳出面では、民間保育所や認定こども園の施設整備補助を通して待機児童が目立つ低年齢児の受け入れを拡大するなど、教育・保育環境の改善に努めており、また、Wai Waiドームしもつまなどの新たな都市基盤とスポーツコンテントを活用したにぎわいのあるまちづくりを進め、交流人口の拡大が期待される。

これらの事業実施にあたっては、市民の要望、期待に十分応えられるよう、適正に執行されることを望み、更なる市民福祉の向上と市政の発展を期待し賛成する。

反 対

本予算では、病児保育事業の新設や高齢者福祉タクシー事業の拡充、住宅リフォーム資金補助事業の継続など、評価できる点もある。

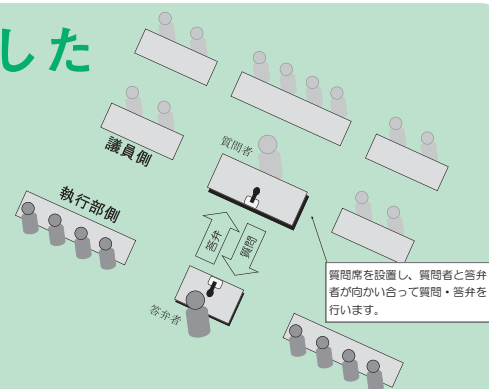
しかし、長引く不況のもと、市民の多くは厳しい暮らしを余儀なくされている。平成30年度の市税滞納者への差押え件数は、平成31年1月末現在で、561件もあり、前年同時期比で51件も増えており、市民に厳しい暮らし。そして、難病患者福祉手当は、年額4万8千円から3万円に引き下げられたままで、市税滞納者には支給しないという冷たい市政のままである。この難病患者福祉手当とひとり親家庭等児童学資金、寝たきり老人等福祉手当の額を元に戻し、市民生活支援策の拡充を求めて反対する。

一問一答方式を本格的に導入しました

平成29年第1回定例会（3月）から、一般質問の際、従来の一括質問方式とあわせて、一問一答方式を試行的に導入していましたが、平成31年第1回定例会（3月）から本格的に導入しました。

一括方式と一問一答方式のどちらで実施するかは議員が選択し、質問時間は60分（答弁を含む）となります。

また、質問回数は一括方式が「再々質問まで」、一問一答方式が「無制限」となります。



平成三十一年第一回定例会

一般質問

今定例会では、12名の議員から市政各般についての一般質問が展開されました。要旨は、次のとおりです。

一般質問者の氏名・項目は次のとおりです。

(通告順)

1 増田 省吾 議員

子供達に夢のある未来を！

- 1 庁舎建設について
- 2 砂沼西部周辺地区開発について
- 3 魅力ある下妻の構築について

2 岡田 正美 議員

- 1 新庁舎建設と市民文化会館、下妻公民館の閉鎖に関する疑問について
- 2 ふるさと納税について

3 平井 誠 議員

- 1 子育て支援の拡充について

2 教職員の長時間労働等の改善を求めて

- 3 はり、きゆう、マッサージ施術費助成事業の拡充について

4 平間 三男 議員

- 1 学校プールについて
- 2 自治振興公社について

5 斯波 元気 議員

- 1 インフラ資産の更新費用について
- 2 2025年問題について
- 3 引きこもり者支援について

6 矢島 博明 議員

- 1 下妻市が目指すコンパクト

2 シティ像について
情報発信について

7 須藤 豊次 議員

- 1 市長の政治姿勢について

8 宇梶 浩太 議員

- 1 自治会未加入者への配布物の配布状況について
- 2 外国出身居住者へのサービス提供について
- 3 市指定のゴミ袋、下妻市ゴミ分別アプリについて

9 塚越 節 議員

- 1 キャリア教育と企業の人材確保に関する諸課題
- 2 いばらき自転車活用推進計画の概要について

10 山中 祐子 議員

- 1 小・中学校の教育環境の充実について
- 2 中高年のひきこもり支援について
- 3 地方創生に向けたSDGsの推進について

11 程塚 裕行 議員

- 1 野田市の児童虐待報道を受けて本市ではどのように考え、行動対策をとるか
- 2 地域おこし協力隊事業について

12 小竹 薫 議員

- 1 オールラフレイル対策について



増田省吾 議員

〔二括方式〕

砂沼西部周辺地区開発について

質問

砂沼西部周辺においては、県西部地区一帯の拠点となるような開発を目指すとして、市長から報告があり、昨年12月に県に対し、サンビーチ廃止の報告をしてきたとの話を聞いている。市民もサンビーチがなくなるのは理解しており、今後の拠点づくり



早期の取り壊しが求められている砂沼サンビーチ

答弁

砂沼サンビーチの早期取り壊しについては、昨年度中に茨城県知事に対し、飯塚県会議員同席のもと、市長によるトップの要望活動を行っている。また、今年の2月には、茨城県開発公社の理事長が来庁し、市長との面談が行われた。その際も強く市長から早期の取り壊しについての要望を行っているが、具体的な内容やスケジュールなどはまだ決まっていない。

今後とも、砂沼サンビーチ施設の取り壊しについて具体的な内容やスケジュールなどが早期に決まるよう、引き続き県開発公社と協議を進めていく考えである。



岡田正美 議員

〔二括方式〕

新庁舎建設と市民文化会館、下妻公民館の閉鎖に関する疑問について

質問

庁舎建設は、おおむね市民の賛同を得ているようであるが、市民文化会館、下妻公民館を廃止して地域交流センターを建設することの決定には疑問が残る。新庁舎ができるから、複合化という企画で流れが進んでいないか。また、芸術文化活動やまちづくり、人づくり、役割などについて本当に論議を尽くしたのか、どのような検討をしたのか伺う。

答弁

市民文化会館及び下妻公民館については、建築後40年程度が経過し、市民文化会館は耐震性能不足や客席天井の既存不適格、舞台吊り物、音響、照明、非常用消防設備などが老朽化しており、下妻公民館も同様に老朽化が著しく、電気設備や機械設備の大部分を市民文化会



令和2年1月末をもって閉館する市民文化会館及び下妻公民館

館に依存している。仮に両施設を大規模改修したとしても、躯体自体の延命は困難であり、市民ニーズの多様化などにより、利用者も減少している状況となっている。そのため、公共施設等マネジメントの基本原則に基づき、複合化を行うことで、管理運営の効率化や市民サービスの質の向上を目指すとしたものである。

地域交流センターの検討については、新たに市民ワークショップや市民アンケートを実施し、管理運営についても検討し、従来の文化芸術活動や生涯学習活動の充実のほか、幅広い用途で利用できる施設整備を検討していきたいと考えている。



平井 誠議員
〔二括方式〕

子育て支援の拡充について

質問

新年度の子育て支援の拡充については、自校方式給食の充実や病児保育事業の新設、保育体制強化事業補助金の新設など優れた点もあるが、「子育てしやすいまち」と言われるまでに至っていないように思う。子育てしやすいまちづくりを目指してほしいとの思いから次のことを伺う。

現在、市内には16カ所に学童保育クラブがあるが、待機児童はいるのか、また、利用料金は1カ月5千円であるが、今後、第2子以降の費用負担を半額にするなどの軽減はできないか伺う。

答弁

本市の学童保育事業は、市内小学校区全域に設置し、その運営は保護者会や民間事業者に委託している。本年4月の利用希望者数は、若干の超過

が予想され、利用希望が多いクラブでは優先利用の基準により低学年利用を優先していく方策を取り入れ対応しており、潜在的な待機児童の解消が早急の課題となっている。

学童保育の利用料は、全クラブ同額の月額5千円で運営者が保護者より徴収している。市委託料と利用料が運営の財源となり、各クラブの努力により利用料の増額をすることなく事業を継続しているところであり、人件費等を考慮しても適正な料金設定と考えている。第2子以降の利用料金の軽減については、クラブ運営の安定化を考慮すると困難であると考えている。



平成28年に開設したひまわり学童クラブ



平間三男議員
〔二括方式〕

学校プールについて

質問

市内学校プールは、全体的に古く、補修・改修、メンテナンスなどランニングコストの増大が見込まれる。季節限定の使用ではあるが、子どもたちが安心・安全に楽しく水泳授業ができるように、今後の継続的維持管理対策と将来的な学校プールにおける設置のあり方についてどう考えているか見解を伺う。

答弁

本市の小中学校には、下妻中学校を除く全学校にプールがある。昭和40年代に建設された施設が多く、今後も利用していくためには大規模改修が必要で、多額の費用が見込まれる。施設の利用は6月上旬から夏休みまでの約7週間で授業が行われており、この期間におけるプール稼働率は、9小学校平均が26%、3中学校平均が33%である。

下妻中学校の水泳授業は広域

事務組合管理のプールなどの借用を検討したが、全面貸切ができないなど、効率的な授業が見込めないことから千代川中学校プールを共同利用する計画である。東部中学校では、旧東部中学校跡地のプールを利用しているが、跡地での工事進捗状況にも注視し、安全な水泳授業が行えるよう調整していく予定である。

今後は、施設の老朽化や稼働率を考慮すると、1校に1プールを維持管理し存続させることは困難であると考え、二つのプールを複数校で共同利用する方法等について研究していくものである。



老朽化が進む市内学校プール



斯波元氣 議員

二問一答方式

2025年問題について

質問

団塊の世代が後期高齢者に達するのは2025年がピークであり、社会保障費もピークを迎えると言われている。そこで、本市の社会保障費等は現在と比べてどのくらい増え、その財源はどのように賄われるのか。

また、団塊世代の子ども世代は親世代を支える経済的な力が乏しいと言われ、子どもが引きこもり状態にある世帯は生活保護へ移行することが予想される。本市において、その可能性のある世帯は何世帯あるのか伺う。

答弁

本市において社会保障費は、国民健康保険及び介護保険などの保険給付費、民生費の扶助費、保健衛生費の予防接種等の委託料等である。これらを合算し、過去の伸び率で試算すると、2025年度には約110億円となり、約20億6千万円の増

加が見込まれる。また、後期高齢者医療の保険給付費の負担金は約1億円の増加が見込まれる。これらの財源については、それぞれの制度で異なるため一概には言えないが、今後、国による経済政策及び社会経済状況によって大きく左右されると考えている。

内閣府の若者の生活に関する調査報告書によると、15～39歳の人口の1.57%が引きこもり者及び準引きこもり者と推計されている。本市の人口で推計すると、約180人となる。この全ての人が持ち家で親と2人世帯として生活保護を受給すると年間約2億1千万円の増加が見込まれる試算となる。

生活保護



社会保障費は団塊の世代が後期高齢者に達する2025年がピークを迎えると予想されている



矢島博明 議員

二問一答方式

情報発信について

質問

本市では、広報しもつまやお知らせ版などの紙媒体とホームページ、フェイスブックなどで情報を発信している。しかし、パブリックコメントなどは知らないうちに終わってしまったということがある。住民一人一人が情報をしっかり受け取り、それについて考えて意見を述べられているのかどうか、情報が上手に発信できず周知が足りなかったことはないのか、情報周知に対してどのような認識であるのか伺う。

答弁

広報誌は1万3700部発行し、各戸配布を行っている。配布率は約7割となっており、全戸配布には至っていない。自治会に加入していない世帯については、広報誌等は市役所庁舎や大型店舗等で配布する方策を行っている。また、平成30年4月～平成31年2月現在で市ホームページへ

のアクセス数は15万9130件、ツイッターのフォロワー数は1786件、フェイスブックの「いいね!」は1058件となっており、かなりの認知件数があると認識している。

また、パブリックコメントの回答数や説明会等によつては参加者が少ないことがある。様々な要因があると思うが、今後の課題として、各戸配布の広報誌や市ホームページ、フェイスブック等のSNSを通して、いかに市民に情報を届け、活用してもらおうかということを徹底していきたいと考えている。



SNS等の活用を含め、市民に対してより多くの情報発信が求められている



須藤豊次議員

二問一答方式

市長の政治姿勢について

質問

サンビーチ廃止の総合判断について前回も質問したが、サンビーチの現状報告会やどこでも市長室での市民の意見等を改めて伺う。

また、サンビーチ廃止のような市の重要事項の決定について、今後もし意見が少なくないのも民意だと言っ

答弁

報告会は市長が市民に直接説明し市民の声を聞くために開催した。意見としては、継続を望む意見3件、廃止を望む意見4件、その他5件である。どこでも市長室は平成31年2月末までに7回実施し、サンビーチに係る意見が出たのは3会場、廃止後の跡地利用の要望が4件、改善案が1件、その他が1件である。

多くの市民の声を聞き、それらを市の政策に取り入れていくこと



「どこでも市長室」開催の様子

が市政運営の基本であり、私の政治姿勢である。また、特に重要な事項については、可能な限り広聴の機会を設け、直接市民の意見を聞くよう努めるとともに、二元代表制の一翼を担う議会及び議員各位を通じて、市民の意見を反映させていきたいと考えている。サンビーチ報告会では、多くの方に来ていただきたかったが、結果として少ない人数であった。その他にも検討委員会や議会の特別委員会などの意見やもろもろの意見を聞き、サンビーチ廃止という判断をした。決して手順は間違っていないと思っており、判断も間違っていないと思っている。



宇梶浩太議員

二括方式

市指定のゴミ袋、下妻市ゴミ分別アプリについて

質問

市指定のゴミ袋の無料配布枚数は世帯人数によつて異なるが、高齢者や障害者を在宅で介護している世帯などの特別な事情のある世帯には追加で配布することはできないのか。また、ゴミ袋は1枚50円の有料としたことで、ゴミの量に変化はあったのか伺う。

また、市のゴミ分別アプリの利用状況や周知について伺う。

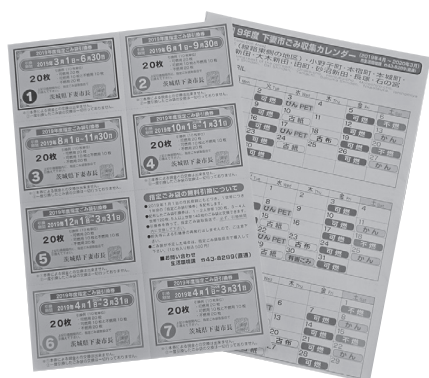
答弁

ゴミ袋無料引換券の配布は平成31年度分から見直しを行い、5人以上は一律140枚としていたところを7、8人世帯を160枚、9、10人世帯を180枚、11人以上を200枚とする区分を追加した。要介護者のいる世帯のおむつ処理分など、事情を考慮した枚数の設定等の課題については、関係部署とも連携を

図りながら検討していきたいと考えている。

平成17年度に1枚15円から50円にゴミ袋の価格を改定したが、ゴミの収集量は年度によつて変動はあるものの、1人当たりに換算すると、平成16年度以降200kg前後で推移しており、変化は見られない。

ゴミ分別アプリのダウンロード数は導入初年度の平成27年度は860件、平成28年度429件、平成29年度663件、平成31年1月末現在の累計数は2297件である。ゴミアプリの周知は、イベント時のPRやお知らせ版、ホームページへの掲載等を行っている。今後も普及促進に努めていく。



今年度分から配布枚数の見直しが図られたゴミ袋無料引換券



塚越 節議員

〔二問一答方式〕

いばらき自転車活用推進計画の概要について

質問

県はサイクルツーリズムの拡大を目指し、2021年度までの3カ年を推進期間と定め、市町村版自転車活用推進計画の策定の目標値を5市町村としている。そこで、つくば霞ヶ浦りんりんロードエリアと鬼怒・小貝リバーサイドルートを連結させるネットワーク路線の候補として、南原・平川戸線の可能性と本市の自転車ネットワーク計画の策定について伺う。

答弁

南原・平川戸線の歩道幅員は2.5mで整備しており、サイクルリングロードをつなぐネットワーク路線としては、車道を通行することになる。本路線は工業団地へのアクセスや市街地を迂回する大型車の通行が多く見込まれることから、交通安全上の危険性の恐れがある。安全に走行



現在整備が進められている南原・平川戸線

できるよう注意看板や路面標示等の安全対策を研究していきたいと考えており、サイクルリングロードとして適切な利用が図れるよう県に要望していきたいと考えている。今後、本市の自転車活用促進計画策定の際には鬼怒川と小貝川を東西に結ぶサイクルリングロードのネットワーク路線として位置づけ、安全に利用できる環境づくりについて検討していきたいと考えている。

また、本市では現在、自転車が行き交う場所の基本的な整備形態が決められていないことなどから、安全で快適なサイクルリングロードづくりを進めていくために、自転車ネットワーク計画の策定が必要になってくると認識している。



山中祐子議員

〔一括方式〕

中高年のひきこもり支援について

質問

ひきこもりは若者の問題として扱われてきたが、引きこもり期間が長期化し、本人が40代、50代になると、親も高齢化し生活が困窮するケースもあり、この問題は潜在的に広がっている指摘されている。80代の親が50代の子どもの面倒を見る「8050問題」は社会問題化し、親亡き後の不安も大きくなる。そこで、相談しやすい体制の整備について伺う。

答弁

NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会が平成29年度に行った調査では、ひきこもり者の約3割が40代以上であったと報告されており、高齢化が年々増加傾向にあると考えられている。本市では、福祉課内に基幹相談支援センターを直営で行うことで、相談しやすい窓口

を整備している。ひきこもりの二因と言われている精神疾患や発達障害を含めた各種相談に保健師などの専門職が対応し、面接や訪問を行っており、内容によっては介護保険や生活困窮者自立支援担当の窓口につなぎ、解決を目指すなど横断的に対応している。このほかにも、さまざまな機関と連携しながら地域で自立した生活ができるよう援助していきたいと考えている。

積極的な介入については、他団体の取り組み事例もあるが、本市では国や県の動向を見極めながら、プライバシーに配慮しつつ、本市社会福祉協議会や民生委員との連携を図りながら慎重に進めていきたいと考えている。



茨城県が発行するひきこもり相談支援に関するパンフレット



程塚裕行 議員
〔二括方式〕

野田市の児童虐待事件 報道を受けて

質問

児童虐待による死亡事例は年間50件を超え、1週間に1人の子どもが命を落とし、児童相談件数も年々増加している。そこで、本市における子ども虐待の報告、発見・相談についての現状と児童虐待防止のための教師、教育委員会の心構えについて伺う。

答弁

平成29年度の虐待相談の件数45件のうち、教育・保育施設や児童相談所を経由した案件は39件で、関係機関からの発見・相談が多くを占めている。家庭相談員や市担当職員、主任児童委員が定期的に市内小学校や児童施設等を巡回し、気になる児童や家庭の情報交換を行い、収集した情報を関係機関と共有することにより早期発見に努めている。虐待発見・相談の対応として、

虐待状況を細かく聴取・判断し、緊急性の高い案件は児童相談所や警察署に送致している。また、児童相談所と虐待対応の検討や適切な支援方法の確認を定期的に行うなど、虐待が起きた際に関係機関と一体となって対応できる体制づくりを進めている。

教育委員会では、いじめ問題と同様に最重要課題と捉えている。早期発見・対応において学校が果たす役割は極めて重要で、これまでも関係機関と緊密に連携を図りながら対応しており、市内の小中学校に対し、虐待が少しでも疑われる事案についても迷わずに教育委員会に迅速に相談することを徹底し、対応している。今後子どもたちの安全確保に努めたいと考えている。



子どもの命を守るために関係機関と連携した体制づくりが進められている
(厚生労働省ホームページより)



小竹 薫 議員
〔二括方式〕

オーラルフレイル対策 について

質問

オーラルフレイルとは、口腔機能の虚弱を表す言葉で、主に口周りの筋力が衰えることにより滑舌や食の機能が低下することをいう。このオーラルフレイル対策を練ることで健康寿命を伸ばせるのではないかと思う、市民の健康寿命延伸のためにも、市の取り組みを伺う。

答弁

本市においても特に高齢者の口腔ケアは健康寿命を延ばし、さらに医療費等の削減につながる対策として重要視しており、介護予防事業などに取り入れるなど実践しているところ、シルバーリハビリ体操教室では、飲み込む力を強化する嚥下体操を毎回取り入れている。そのほか、認知症予防教室や元氣教室、市内の指定通所事業所や特別養護老人ホーム等においても積極的に

口腔機能向上に取り組んでいる。また、茨城県後期高齢者医療広域連合からは高齢者の口腔機能低下や肺炎等の疾病予防のため、無料の歯科健康診査受診券が発行されている。

今後は、高齢者だけでなく乳幼児から成人においても、かかりつけ歯科医などで定期的な健診を通じて、歯周病予防に努め、高齢になっても自分の歯で食事を続けることが重要であることから、広報啓発に積極的に取り組み、県で推奨している「8020運動(80歳で20本の歯を保つ)・6424運動(64歳で24本の歯を保つ)」を推進していきたいと考えている。



嚥下体操を取り入れているシルバーリハビリ体操教室

議会日誌

2月

1日 茨城県市議会議長会第2回議員研修会
13日 茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会定例会
15日 全国市議会議長会市議会議員共済会代議員会
18日 庁舎等建設に関する調査特別委員会
20日 全員協議会

4日 本会議 議案質疑
5日 文教厚生委員会
6日 経済建設委員会
7日 予算特別委員会
8日 予算特別委員会
11日 予算特別委員会
議会議務委員会
庁舎等建設に関する調査特別委員会

3月

1日～20日 第1回下妻市議会定例会
1日 本会議 議案上程、説明
庁舎等建設に関する調査特別委員会
21日 下妻地方広域事務組合議会定例会
25日 議会運営委員会

4月

5日 庁舎等建設に関する調査特別委員会
15日 茨城県・県西市議会議長会事務局長会議
19日 月例会
第2回広報広聴委員会
庁舎等建設に関する調査特別委員会
議会改革検討委員会

次回定例会予定

月 日	曜日	日 程
6月 3日	月	本 会 議 開 会 (会期の決定・諸報告・議案上程、説明)
6月 4日	火	本 会 議 (議案質疑) ----- 常任委員会 (総務委員会)
6月 5日	水	休 会 常任委員会 (文教厚生委員会)
6月 6日	木	休 会 常任委員会 (経済建設委員会)
6月 7日	金	休 会 予算特別委員会 (補正予算)
6月11日	火	本 会 議 (一般質問)
6月12日	水	本 会 議 (一般質問)
6月14日	金	本 会 議 (議案及び請願・陳情に対する委員長報告 質疑・討論・採決) 閉 会

※会期日程は、都合により変更になることがあります。

議会を傍聴しませんか

～平成31年第1回定例会では、41名の方の傍聴がありました～

市議会では皆様の傍聴をお待ちしています。

傍聴は、市議会活動に触れる良い機会です。自分が選んだ議員の活動や市政の方針などを知ることができます。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎3階議場までお越しください。

多くの方の傍聴をお待ちしております。

なお、議場内での飲食・雑談等のご遠慮ください。

また、本会議開催中は、本庁舎1階市民ホールのモニターで中継を行っています。

次回の市議会だよりの発行は8月10日(土)の予定です。

議会だよりへのご意見などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

問合せ先

議会事務局 (0296) 43-2111 (内線 1111・1112)



議場見学に来た下妻いずみ幼稚園の園児の皆さん

今月から新元号「令和」がスタートいたしました。今年も、新時代の幕開けに相応しい茨城国体が開催され、本市では少年男子及び女子のソフトボール、デモンストレーション競技でEポートが開催されます。

本市議会は、茨城国体を全力でサポートして参りますので、市民の皆様におかれましても全国から本市に来訪される選手・関係者の方々に、「また下妻市に来てみたい」と思っていただけのような「おもてなし」へのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

編集後記